



46 こまの絵付け

青森県立種差少年自然の家



○活動の概要○

見本を参考にしたり模様を考えたりしながら、こまにマーカーで着色します。でき上がったこまで遊ぶこともできます。

1 ねらい

白木のこまに着色し、昔ながらのこま回し遊びを体験させます。

(小学校 図画工作 中学校 美術)

2 場所・人数・期間・時間

① 場所・人数 プレーホール、大ホール 150人以内
自然観察室、小ホール 40人以内 (絵付けのみ)
(1グループ4～8人程度)

② 期間 通年

③ 時間 2～3時間

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	・特になし	
個人	・特になし	
自然の家	・テーブルクロス ・新聞紙 ・(こま用土俵)	
斡旋可能	・こまセット (白木のこま、ひも、ペイントマーカー)	・1セット 175円

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 用具の準備と諸注意
- ② つくり方の説明
- ③ 製作
- ④ まとめ・片づけ
- ⑤ こま回し・大会など

7 その他

- ・製作した後にこま回し大会などへ発展させると、さらに楽しい活動になります。
- ・完全に乾かないままこまを回した場合、床に絵の具が飛び散りますので、絵の具が完全に乾くのを待ってから回してください (絵の具が床につくと、消すことが非常に困難になるため)。

《資料》

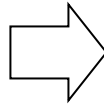
- 1 構想をねる。
 - ・自分独自のデザインや色づかいを考える。
 - ・回転することを考慮する。

- 2 図案化する。
 - ・構想を実際にこまに描く。

- 3 遊ぶ。
 - ① 回し方
 - ・こまの心棒の上にひもの先の輪をかける。
 - ・こまの下側の心棒に巻きつける。
 - ・右手に持って前方に投げつけ、強く引く。



ひもの先を輪にする



巻きつけたところ

- ② 遊び方（参考資料あり）
 - <りき>
 - ・数人で同時にこまを回して誰が一番長い間回ったか競う。
 - ・途中ぶつかるのが面白い。

- <けんか>
 - ・土俵上で同時に回し、土俵の中に最後まで残ったものが勝ちとなる。
 - ・土俵で止まったり、出てしまったりしたら負けとなる。

